

リニア駅周辺 県関連3道路整備の 今後の進め方について

令和 6年11月25日(月)18:30～麻績の館

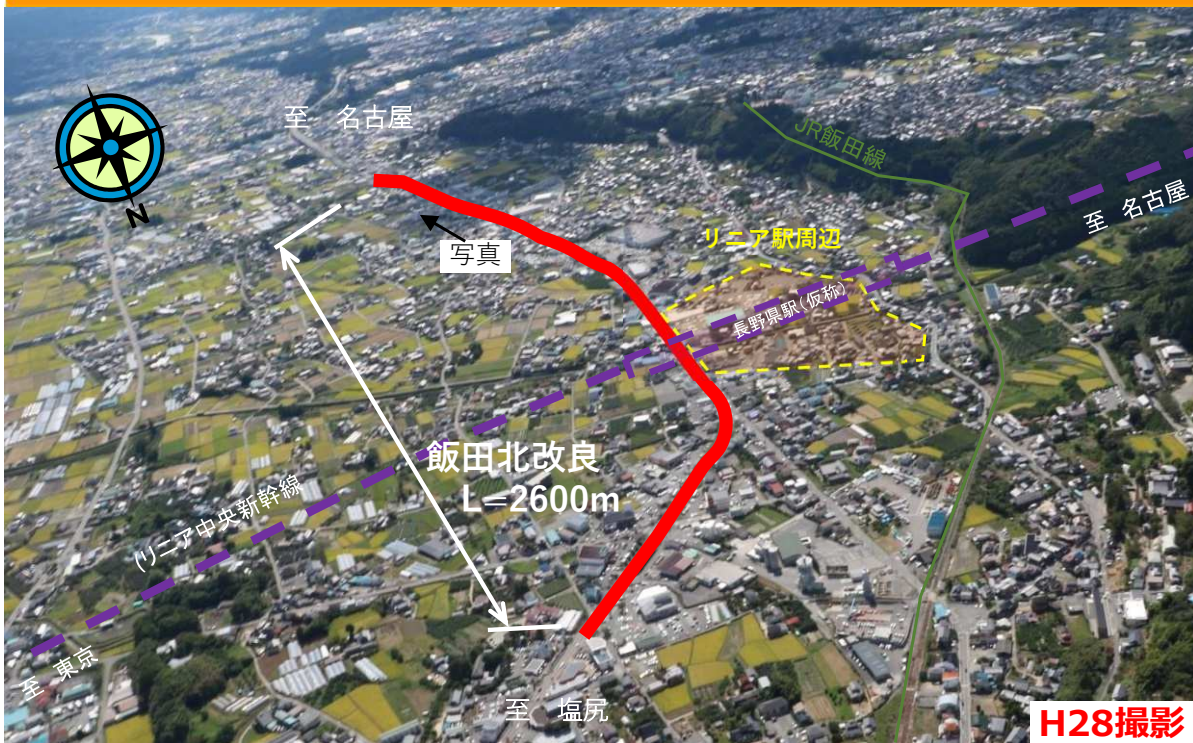
リニア関連事業に関する説明会

長野県飯田建設事務所



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

1. 事業概要(国道153号 飯田北改良)



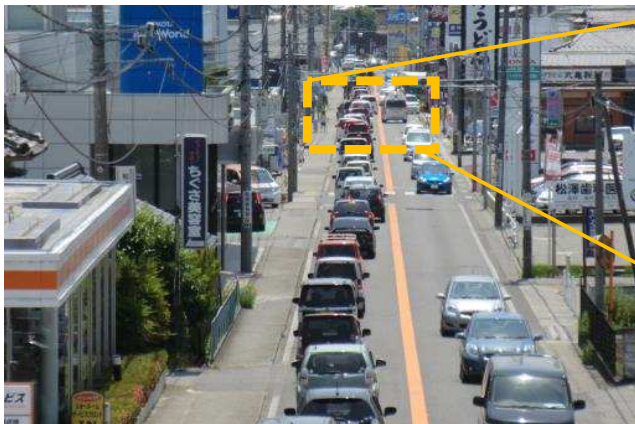
全体延長 L=2,600m

計画幅員 4車線
車道14.0~17.0m
全体25.5~27.0m

現況幅員 2車線 (平均7m)
片側歩道 (平均1m)
(一部両側もあり)

全体事業費 175億円

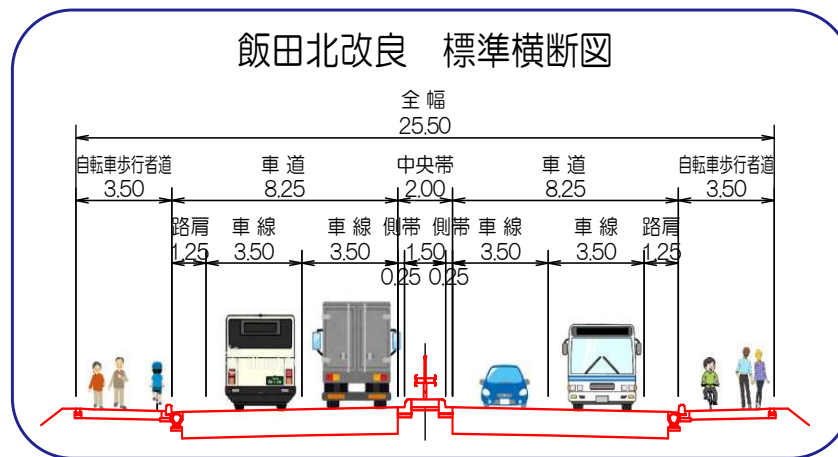
用地進捗率 約70%
(令和6年(2024年)3月末)



交通状況 (現在)



渋滞により立ち往生する救急車



1. 事業概要(座光寺上郷道路)



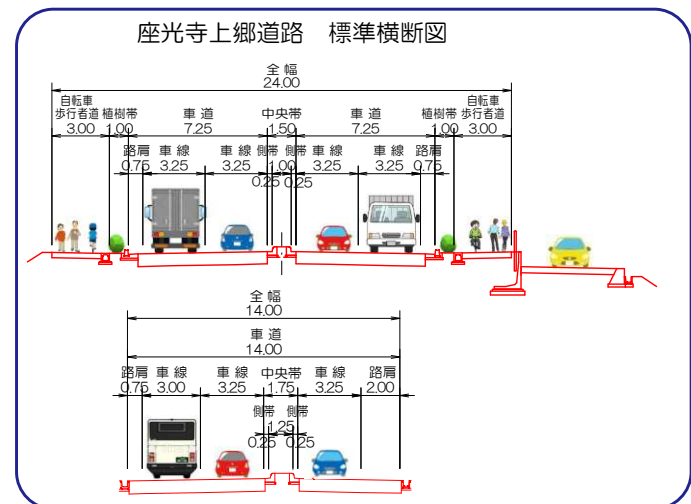
全体延長 L=2,970m

計画幅員 4車線 (ランプ部2車線)
車道9.5~14.0m、
全体14.0~24.0m

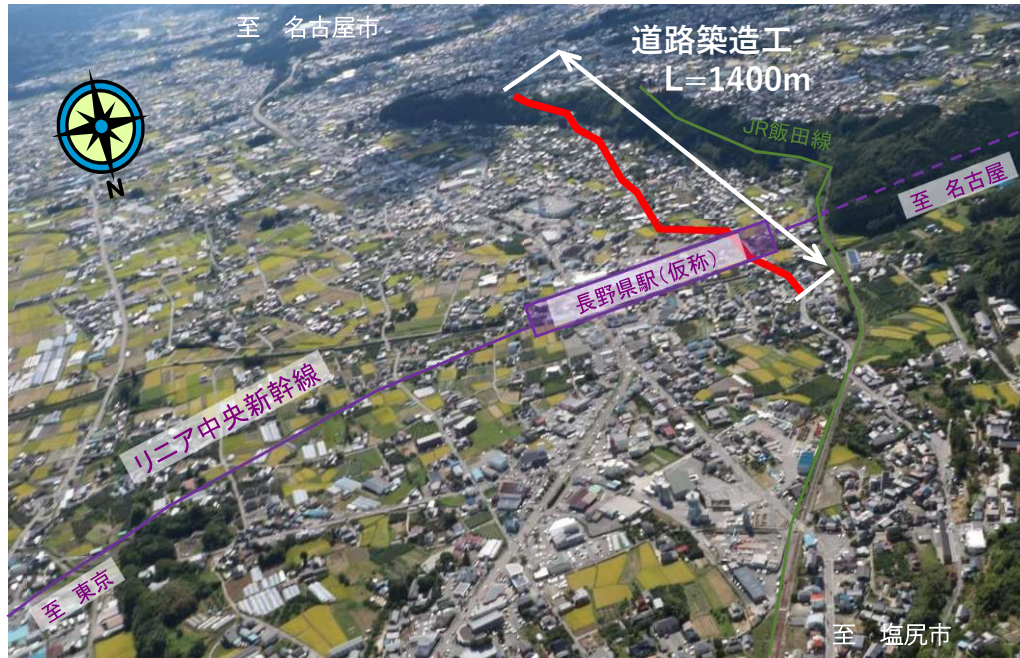
現況幅員 —

全体事業費 130億円

用地進捗率 約90%
(令和6年(2024年)3月末)



1. 事業概要(東新町座光寺線(県道市場桜町線))



全体延長 L= 1,400m

計画幅員 2車線
車道 6.0~9.0m
全体12.0~15.0m

現況幅員 2車線 (平均5.5m)
一部片側歩道・グリーンベルト

全体事業費 37億円

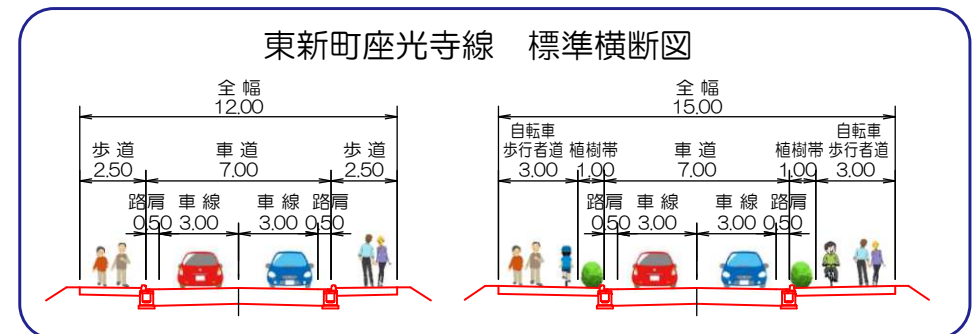
用地進捗率 約90%
(令和6年(2024年)3月末)



普通車のすれ違いが困難な状況

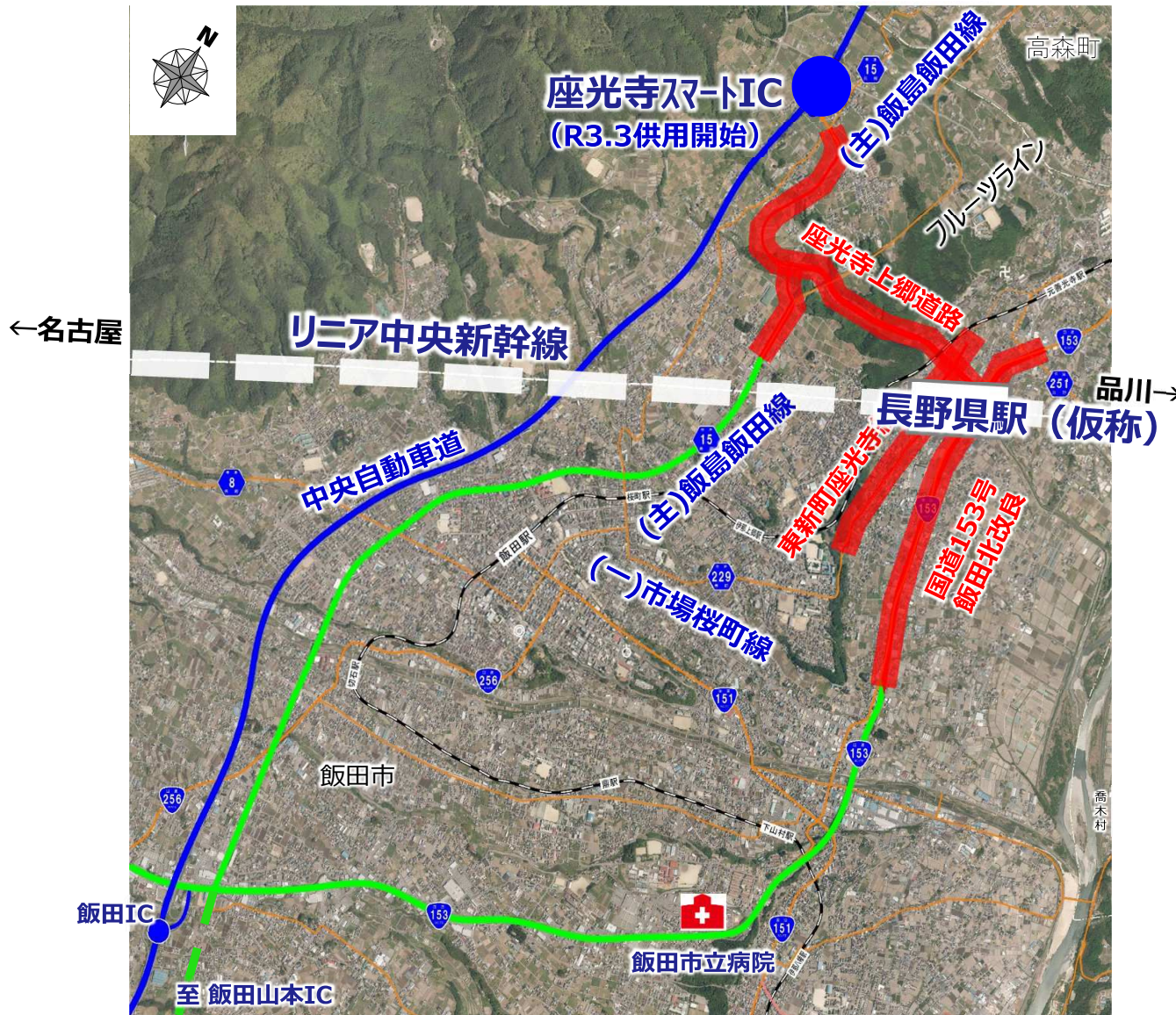


ガードレールによる歩車分離



2. 整備効果(環状道路の形成、時間短縮等)

リニア中央新幹線長野県駅(仮称)へのアクセス道路としての役割、市内では4車線整備で主要幹線主要幹線道路への接続が形成、慢性的な渋滞や交通事故の減少などが期待されます。(国道では円滑な交通が確保され6分の時間短縮)



| 凡 例 | |
|--------------------------------------|----------------|
| ■ | 県事業実施中箇所 |
| — | 供用済道路 (4車線) |

リニア中央新幹線長野県駅(仮称)
 予想乗降客数 6,800人/日
 (出典:長野県新総合交通ビジョン)

(参考)
 北陸新幹線乗車人員 令和元年度
 長野 7,420人/日
 軽井沢 4,042人/日
 佐久平 2,691人/日
 (出典:東日本旅客鉄道株式会社HP)

3. 令和9年度(2028年3月)時点での状況

渋滞の解消や道路の信頼性、利便性の向上が期待できるなど、地域にとって重要な道路であることから、早期に効果が発現できるよう進めます。

①国道153号 飯田北改良

リニア高架橋工事による影響区間を除き、暫定4車線で供用

②座光寺上郷道路

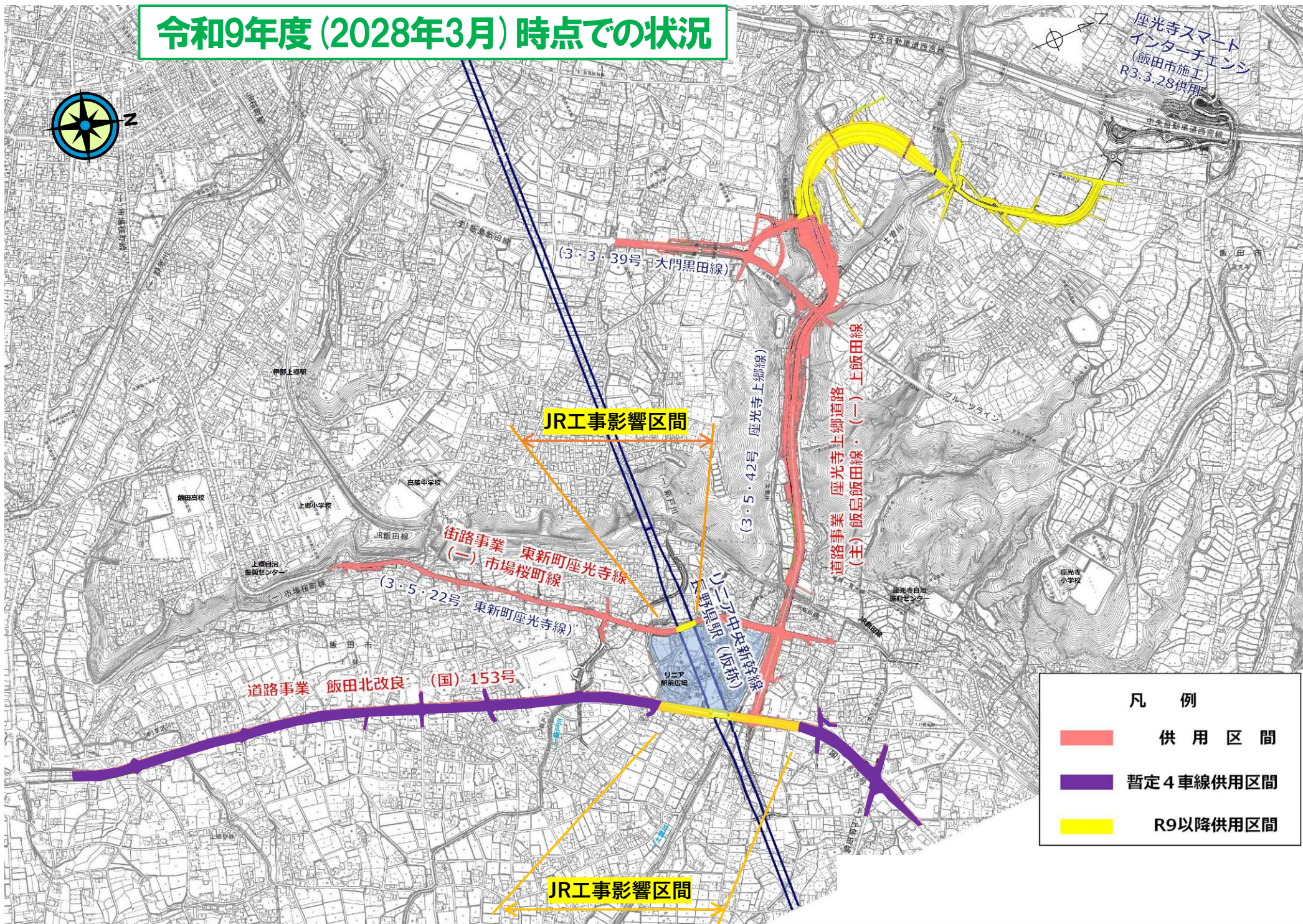
国道153号(飯田北改良)～フルーツライン間の完成供用

③東新町座光寺線

リニア高架橋工事による影響区間を除き、完成供用

具体的に供用する区間、時期等については、今後の説明会等で改めてお知らせします。

令和9年度(2028年3月)時点での状況



| 凡例 | |
|---|-----------|
| | 供用区間 |
| | 暫定4車線供用区間 |
| | R9以降供用区間 |

4. 事業の遅れの主な理由

○リニア本線高架橋(駅工区)工事の遅れ

- ・道路と交差する区間のJR工事の遅れにより、工程に影響が発生

○用地交渉の長期化

- ・事業用地の取得が計画通りに進まず、工程に影響が発生

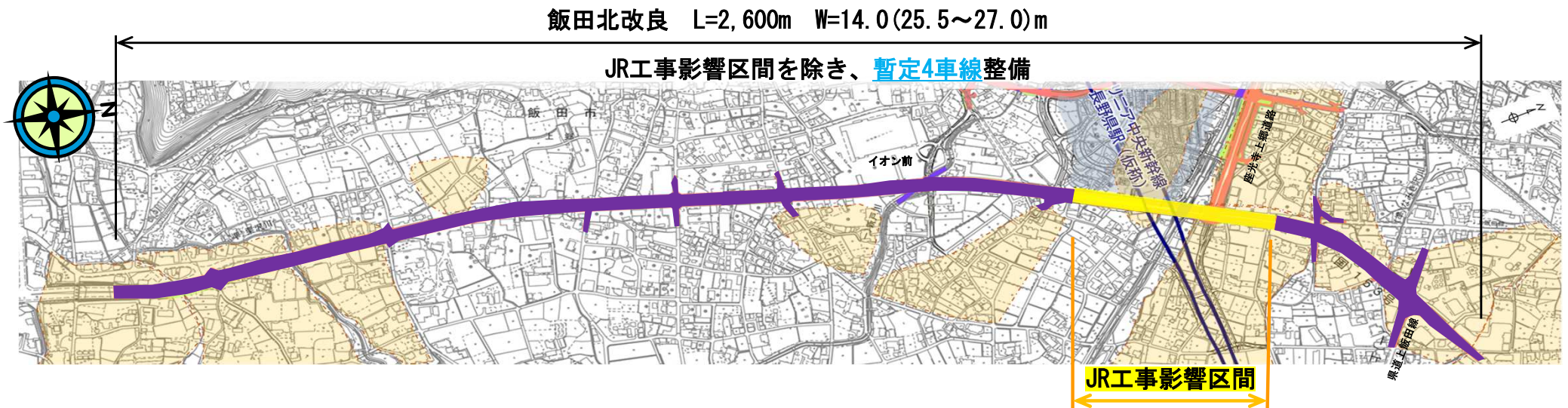
○埋蔵文化財調査、調査期間の延長

- ・遺跡過密地帯で幾層にも及ぶ遺跡や調査期間の長期化により、工程に影響が発生

5. 今後の進め方(国道153号 飯田北改良)

暫定整備の方針

- リニア高架橋工事による影響区間を除き、車道を**暫定4車線**
- リニア高架橋工事による影響区間は、2車線で供用
- 道路拡幅工事に合わせて電線地中化(共同溝)工事に着手
- 歩行者通路を確保し道路工事を施工

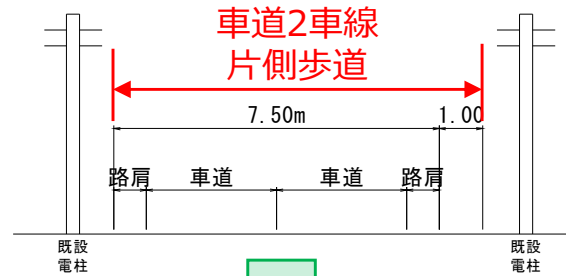


リニア高架橋工事による影響区間についても4車線化を今後、極力前倒ししていけるよう更に調整を進めます。

5. 今後の進め方(国道153号 飯田北改良)

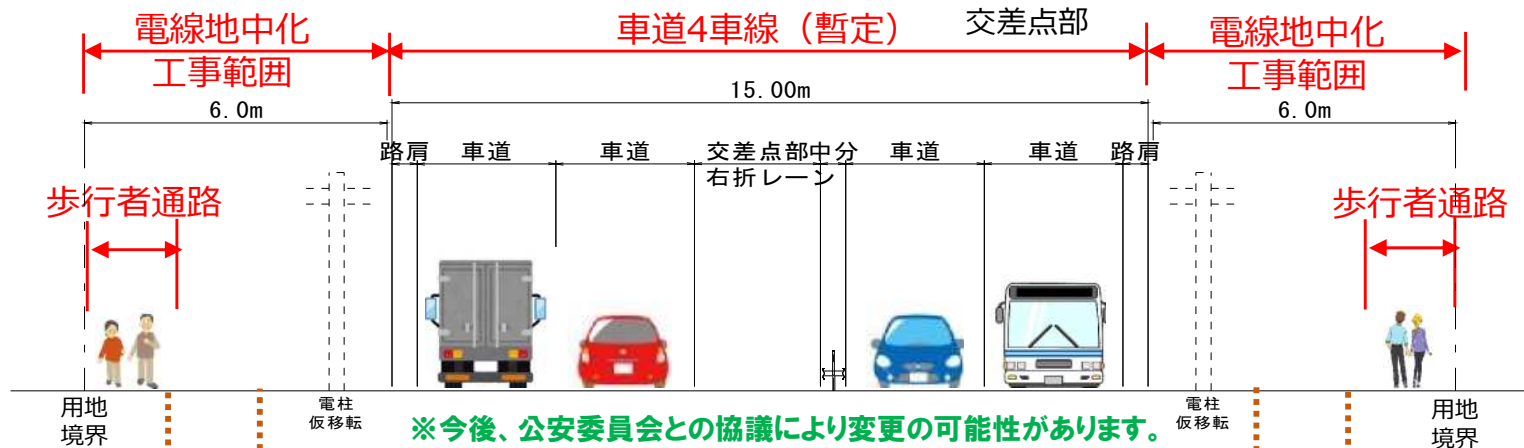
【代表幅員イメージ】

現在の幅員



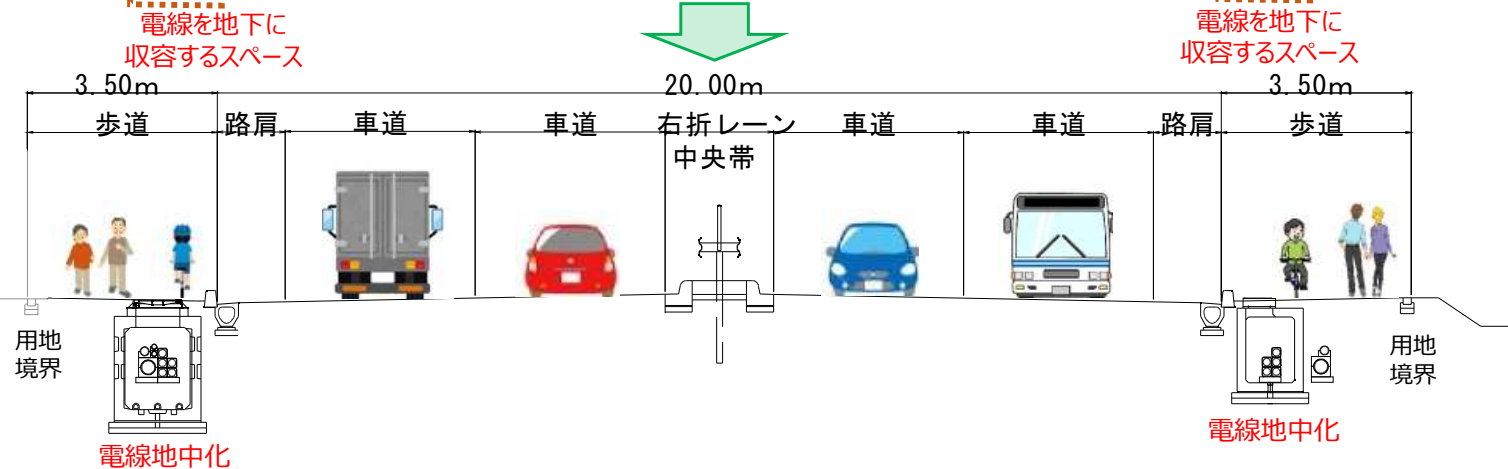
暫定4車線

- ・交差点に右折レーンを設置します。
- ・歩行者用通路を両側に整備します。



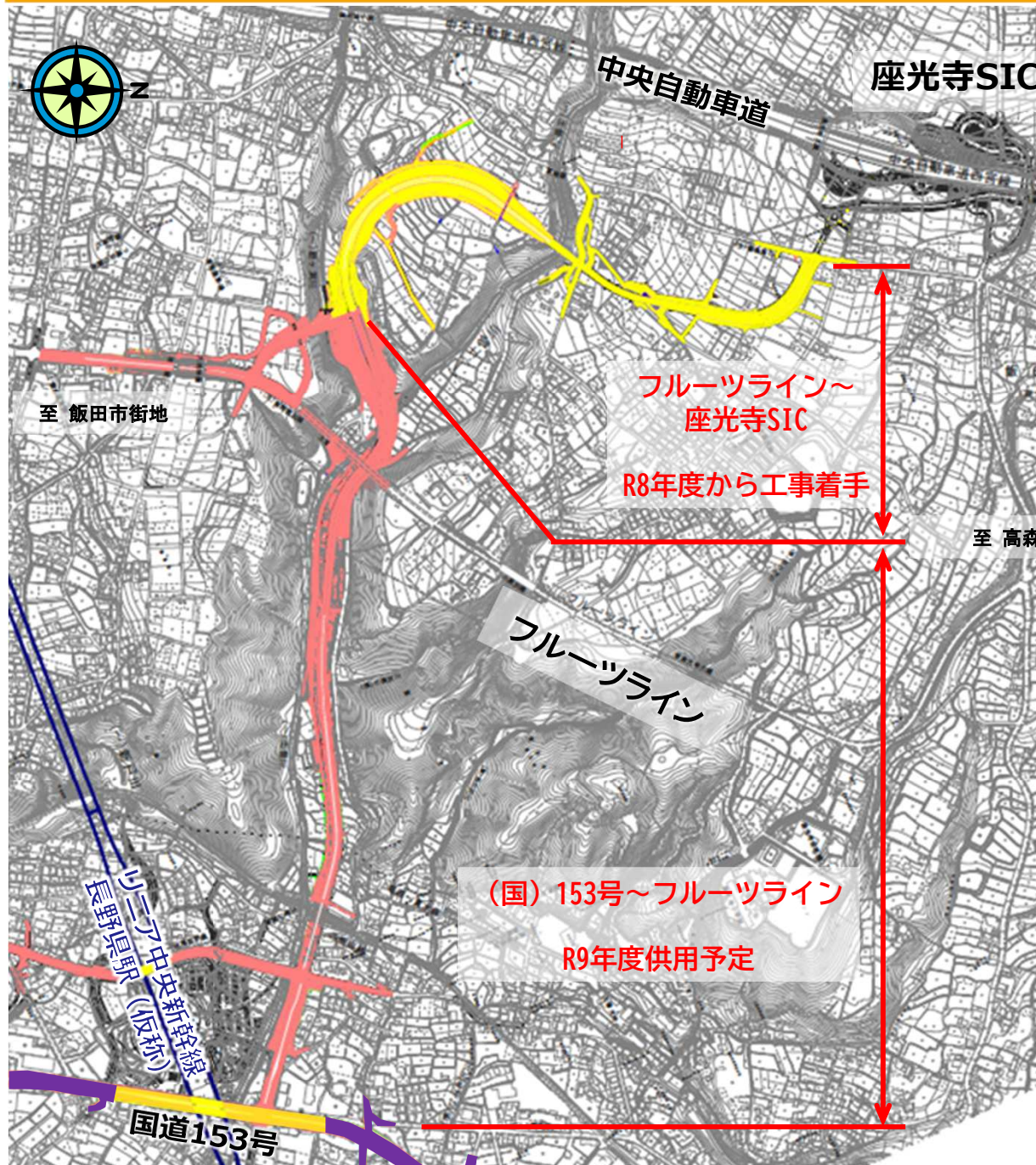
完 成

- ・交差点に右折レーンを設置します。
- ・歩道を両側に整備します。
- ・電線が地下に入ります



※店舗等からの国道への出入り等含めて工事の詳細については、今後の説明会等で改めてお知らせします。

5. 今後の進め方(座光寺上郷道路)



【フルーツライン～座光寺SIC取付道路間】

- 令和6年度(2024年)から埋蔵文化財調査を開始
- 令和8年度(2026年)から工事着手
- 引き続き、埋蔵文化財調査を実施しながら調査完了した箇所から順次工事を進めます。

【国道153号～フルーツライン区間】

- 令和9年度末(2028年3月)完成を予定
※国道道交差点部や市道付替、リニア工事影響部は暫定供用となります。

5. 今後の進め方(東新町座光寺線)

○リニア高架橋工事による影響区間を除き、完成供用します。



リニア高架橋工事影響箇所についても今後、極力前倒ししていけるようJRと更に調整を進めます。

※工事用道路および施工期間中の現道切り回しの計画については、各工事説明会にて詳細を説明します。

— 市道
— 令和9年度以降完成区間¹²

6. 電線地中化(電線共同溝)について

安全で快適な通行空間の確保や景観の向上、防災の観点から電線地中化の整備を電線管理者と行います。

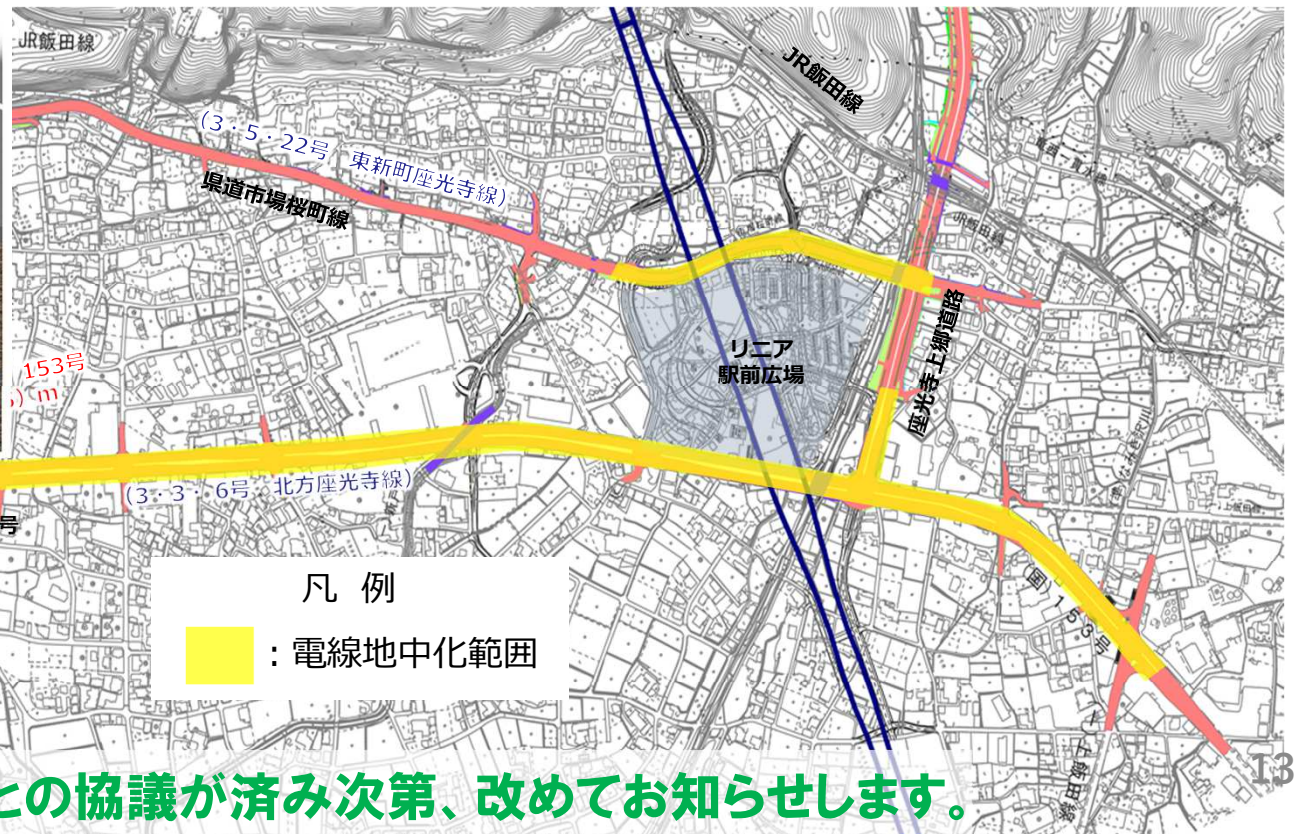
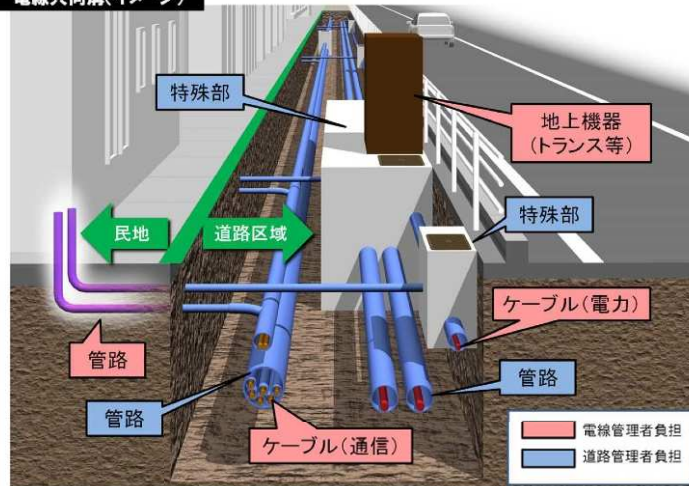


電柱・架空線の状況(国道整備前)



電線地中化が完了した箇所(県道)

電線共同溝(イメージ)



具体的な内容は電線管理者との協議が済み次第、改めてお知らせします。